

令和 5 年度

広島市医師会運営・安芸市民病院
経営強化プラン

点検・評価

令和 7 年 2 月

広島市

「広島市医師会運営・安芸市民病院経営強化プラン」（以下「経営強化プラン」といいます。）は、令和４年３月に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、令和６年３月に、令和５年度から令和９年度までの５年間の計画期間で策定しました。

経営強化プランでは、指定管理者へのヒアリングや、毎年度実施する指定管理者の業務実施状況の評価及び市議会での決算承認を踏まえて、点検・評価を行うこととしています。

指定管理者の業務実施状況の評価については、令和６年９月２５日の広島市議会厚生委員会において、おおむね良好である旨の報告を行い、決算については、令和６年１１月８日の広島市議会臨時会において認定されました。また、本市の所管局において、経営強化プランに掲げた取組の実施状況や数値目標の達成状況について、指定管理者へのヒアリングを行いました。

これらの内容を踏まえ、経営強化プランの実施状況等について点検・評価を実施した結果は、次のとおりです。

１ 病院の現状

（１） 病院名

広島市医師会運営・安芸市民病院

（２） 現在の経営形態

指定管理者制度（代行制）

（３） 所在地

広島県広島市安芸区畑賀二丁目１４番１号

（４） 病床数

一般病床 80 床（うち回復期病床 60 床、慢性期病床 20 床）

療養病床 60 床（うち慢性期病床 60 床）

合計 140 床

（５） 診療科目

内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、リハビリテーション科（計 6 科目）

２ 令和５年度広島市安芸市民病院事業会計決算状況

（１） 概要

ア 収益的収支（金額は消費税及び地方消費税抜き）

本年度の経常収益は 20 億 5,200 万円で、収支計画と比較して 1 億 4,800 万円減少しました。

このうち、医業収益の料金収入は 17 億 9,400 万円で、入院・外来の年間延患者数の減等により、収支計画と比較して 1 億 300 万円減少しました。

一方、経常費用は 20 億 4,600 万円で、収支計画と比較して 1 億 4,600 万円減少しました。

経常費用が減少した主な理由は、入院収益及び外来収益の減少に伴い、診療報酬交付金が減少したこと等により、経費が 1 億 4,800 万円減少したこと等によるものです。

また、特別利益は 100 万円で収支計画と同額、特別損失は 400 万円収支計画と比較して 500 万円減少しました。

この結果、収益的収支は 300 万円の純利益となり、収支計画と比較して 400 万円増加しました。

イ 資本的収支（金額は消費税及び地方消費税込み）

本年度の資本的収入は 2 億 5,400 万円で、収支計画と比較して 6 億 6,900 万円減少しました。

このうち、企業債収入は 1 億 3,700 万円で、建設改良費の執行が予定を下回ったことにより、収支計画と比較して 6 億 6,900 万円減少しました。

一方、資本的支出は 2 億 6,900 万円で、収支計画と比較して 6 億 4,800 万円減少しました。

支出が減少した主な理由は、安芸市民病院の病棟等建替えにおける契約手続きに日時を要し、工事着手が遅延したことにより、建設改良費が 6 億 4,800 万円減少したことによるものです。

(2) 収支計画と実績

ア 収益的収支

（単位：百万円）

年 度		5年度 (収支計画)	5年度 (実績)	比較
区 分				
収 入	1. 医業収益	2,001	1,859	▲ 142
	(1) 料金収入	1,897	1,794	▲ 103
	(2) その他	104	65	▲ 39
	うち他会計負担金	16	4	▲ 12
	2. 医業外収益	199	193	▲ 6
	(1) 他会計負担金・補助金	88	81	▲ 7
	(2) 国(県)補助金	5	6	1
	(3) 長期前受金戻入	41	62	21
	(4) その他	65	44	▲ 21
	経常収益 (A)	2,200	2,052	▲ 148
支 出	1. 医業費用	2,161	2,027	▲ 134
	(1) 職員給与費	12	7	▲ 5
	(2) 材料費	0	0	0
	(3) 経費	2,082	1,934	▲ 148
	(4) 減価償却費	63	78	15
	(5) その他	4	8	4
	2. 医業外費用	31	19	▲ 12
	(1) 支払利息	22	19	▲ 3
	(2) その他	9	0	▲ 9
	経常費用 (B)	2,192	2,046	▲ 146
経常損益 (A)－(B) (C)		8	6	▲ 2
特 別 損 益	1. 特別利益 (D)	1	1	0
	2. 特別損失 (E)	9	4	▲ 5
	特別損益 (D)－(E) (F)	▲ 8	▲ 3	5
純損益 (C)＋(F)		▲ 1	3	4

イ 資本的収支

(単位：百万円)

年 度		5年度 (収支計画)	5年度 (実績)	比較
区 分				
収 入	1. 企業債	806	137	▲ 669
	2. 他会計出資金	0	0	0
	3. 他会計負担金	117	116	▲ 1
	4. 他会計借入金	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0
	6. 国（県）補助金	0	0	0
	7. その他	0	1	1
	収入計 (a)	923	254	▲ 669
	前年度許可債で当年度借入分 (b)	16	16	0
	純計 (a) - (b) (A)	907	238	▲ 669
支 出	1. 建設改良費	789	141	▲ 648
	2. 企業債償還金	128	128	0
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0
	4. その他	0	0	0
	支出計 (B)	917	269	▲ 648
差引不足額 (B) - (A) (C)		42	31	▲ 11
補 填 財 源	1. 損益勘定留保資金	10	11	1
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0
	4. その他	0	0	0
	補填財源計 (D)	10	11	1
補填財源不足額 (C) - (D) (E)		0	20	20
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0	20	20
実質財源不足額 (E) - (F)		0	0	0

3 経営強化プランに掲げる医療機能等及び経営指標に係る数値目標と実績

(1) 医療機能や医療の質、連携の強化に係る数値目標と実績

区分		5年度 (目標)	5年度 (実績)	比較
① 医療機能に係るもの	救急患者数(人)	1,337	1,628	291
	手術件数(件)	377	372	▲ 5
② 医療の質に係るもの	患者満足度(%)	82.4	74.8	▲ 7.6
③ 連携の強化等に係るもの	紹介率(%)	16.1	15.1	▲ 1.0
④ その他	健康・医療相談件数(件)	12,361	7,865	▲ 4,496

(2) 経営指標に係る数値目標と実績

区分		5年度 (目標)	5年度 (実績)	比較
① 収支改善に係るもの	経常収支比率(%)	100.4	100.3	▲ 0.1
	修正医業収支比率(%)	91.9	91.5	▲ 0.4
② 収入確保に係るもの	1日当たり入院患者数(人)	132.2	120.2	▲ 12.0
	1日当たり外来患者数(人)	180.9	171.0	▲ 9.9
	病床利用率(%)	94.5	85.9	▲ 8.6
③ 経費削減に係るもの	100床当たり職員数(人)	106.4	106.4	0.0
④ 経営の安定性に係るもの	医師数(人) ※年度末の数(嘱託を除く)	10	10	0

4 総括

広島市医師会運営・安芸市民病院は、公共性の高い医療、地域で必要とされる医療を提供するとともに、広島市東部及び安芸郡4町を診療圏とする中核病院として、在宅医療のバックアップ機能を担うなど地域包括ケアシステムの構築を促進する役割を担っています。

これらの役割を果たすために必要な数値目標として、「医療機能や医療の質、連携の強化に係る数値目標」を5項目、「経営指標に係る数値目標」を7項目設定しています。

このうち、「医療機能や医療の質、連携の強化に係る数値目標」については、健康・医療相談件数など4項目で目標値を下回っており、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行などの影響があったと考えられますが、一方で、救急患者数については目標値を上回っており、地域の中核病院として公共性の高い医療を提供しているものと評価できます。

「経営指標に係る数値目標」については、患者数や病床利用率など5項目で目標値を下回っており、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れのための病床確保や、ワクチン接種の減少などの影響があったと考えられますが、入院患者数については、病床確保が不要となった以後、回復傾向にあります。また、「経営指標に係る数値目標」の設定の考え方において掲げた「経常収支比率 100%以上」は維持できていることから、安定的な経営は継続できているものと評価できます。

これらのことから、広島市医師会運営・安芸市民病院の経営状況は、新型コロナウイルス感染症の影響があった中で、おおむね評価できるものですが、病院を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況にあります。

今後も、引き続き医療水準の向上に努め、中核病院としての役割を果たしつつ、経営強化プランの着実な推進を図り、将来にわたって安定した経営が継続できるよう取り組んでいく必要があります。